

佐倉市建設工事、H21・H22年度は予定価格より各5億円安く契約（落札率77%）

十数年前の入札状況

右の新聞記事の如く、十数年前の佐倉市の入札は、ほとんどが99%程度の落札率（落札金額を予定価格で除した値（%））であった。

佐倉市民オンブズマン

入札改革への取組み

佐倉市民オンブズマンは、右記事の如く、十数年前から取組み、成果が上がってきた。

具体的には、入札予定価格の公表、見積りの証拠保存、違約金支払い、一般競争入札の推進、入札参加業者数の増などである。

長期間にわたる、入札に対するチェックには多くの抵抗があった。例えば、一般競争入札に反対する意見、決算や予算委員会における資料請求に対する抵抗など。しかし、駅頭や、電話、手紙、メール等による多くの励ましや情報提供もいただいた。それらの私

達への支えにより、寒い朝のピラまき、暑い夏のボスティング等厳しい環境での活動も続けてくることが出来た。

その後の状況

下表（佐倉市HPより計算）の如く、建設工事の落札率は、大幅に下がっている。

H17年度より、一般競争入札に移行（指名競争入札を廃止）。その結果、H17年度落札率は73%と低くなり、予定価格に比べ、3.7億円安い契約となった。

また、H21年度には、落札率が77%になり、予定価格より5.2億円安い契約となる。さらに、H22年度も同じく約5億円（別途調査）安く契約できている。担当部門を含めた地道な努力の結果と考えられる。

下表の執行残額は、他用途の予算として使われている。

なお、今後は公契約条例（労賃の保障）なども検討課題になってくる。

佐倉市民オンブズマン 佐倉市の入札状況を調査（朝日新聞1999年8月5日）

ント%七もた表ンと差予割計十年注九のい以件、（）ブがで定に五件度しハ佐藤た内が五同調マ日札格た件金土公度市代同差定件間で、さとるの額木共のが表オで価の分藤佐れ一四うベエ工五一はン落格う建か崎倉て%十ち！事事年九（）ブれかち築つ良市い以四、スので間九あづさらニ工。次民た内件約一上、に四ままれ一十事ま代才このが九の位各発

佐倉市発注土木工事

予定価格と1%以内の差で落札

5年間50件中9割

オンブズマン調べ
市、見直し検討

佐倉市建設工事(土木、建築、電気等工事)契約状況(千円)					
年度	件数	予定価格	契約金額	落札率(%)	執行残額
H15年度	135	3,722,929	3,492,480	93.81	230,449
H16年度	98	1,822,756	1,615,326	88.62	207,430
H17年度	72	1,378,979	1,008,723	73.15	370,256
H18年度	74	769,661	661,293	85.92	108,368
H19年度	96	1,342,396	1,153,387	85.92	189,009
H20年度	84	2,774,010	2,489,674	89.75	284,336
H21年度	123	2,355,639	1,827,269	77.57	528,370
計	682	14,166,370	12,248,152	(平均)	84.96
					1,918,218

千葉県の入札

約5年前の千葉県の入札実態は右の新聞記事のごとく、ほとんどが落札率95%以上であった（総務省HPでは、千葉県のH20年度落札率は、92.8%）。現在、千葉県では入札全体の集計データ等を公表していない。入札に関しては佐倉市より遅れており、改革の余地が多い。

千葉県の工事の入札概要

入札の種類

250万円以上（工事予定価格）は、指名又は一般競争入札。同5000万円以上は、一般競争入札。全国知事会が指名競争入札の早期廃止指針を示したが、千葉県はまだ廃止していない。

低入札調査基準価格（予定価格5000万円以上）

直接工事費（95%）、共通仮設費（90%）、現場管理費（70%）、一般管理費等（30%）の合計×105% = これ以下の入札金額では調査し、問題なければ契約

となる。

最低制限価格

5000万円未満の工事の場合、予定価格の70%～90%の範囲内で最低制限価格があり、これより低い金額では失格となる。

総合評価方式

予定価格5000万円以上に適用する。評価値=技術評価点÷入札価格（税抜き）として、評価値の高い業者を落札者とする。

必要な入札改革

入札結果の十分な公表が行われていないので、年間の入札結果等を集計、公表し入札全体を把握できるようにすべきである。

最低制限価格に張り付いた落札価格が多い。制限価格を更に下げ、競争を高める必要がある。

総合評価方式の評価委員、選定委員は元行政関係者が多い。公正を期するため、幅広い分野からの人選をする必要がある。

担当課の裁量が多過ぎるので、裁量を制限する必要がある。

（読売新聞2006年12月29日）
辞だ6通域指で959929書
退つ0安整名落%665月を
した。1万全備競札全以萬件0の集に開
1対セ争率体上、落円部し示
2指5策入がのだ。札以發了求
社名0工タ札最78つ
が50事1でもそ金上注と
い社円「發行高9のう1の事ろ、工こして、得
ずの」へ注わか%はち8入へ
れうで予のれつに5落9札予今改
もち1定たたに5落9札予今改
予30価県葛の上4札億は定年改
定社0格單南は、た件が56格調

がる争を
求の入示
めが札す
現の「度前
現状落半
され全規
そだ。國大
が超えて
合事件の
の、依然
として多く
を占め
る指名競
争入札で
減に向け
た。札
率が高
さなり
る改
革い競合

県土整備部
発注工事

落札率95%超、8割

く地不て件争へ次へ注399札格と
元動い入18ぐ11工県件%業者
利業産る札件一月事のあ台
益者業こ入は般末のとた。21め
をを課と札96な競現单とた。
薄指は方に争在純で
く名づ式の入へ平は、れ
す指いに2に札は、98た。くじ
てよ%對で均%台引
でヶ競、つへし、77落今%
モ1争県で2工入建差0指・札度
事が札設が4名8が率県
を多は・出6競%相は發
6も落

（読売新聞2006年12月29日）
読応改導円早全満争価ある取
売を革入以期国の入格県2はのでは経
新迫指す上廢知工札2はのでは経
聞ら針るの止事会は導円億今
れを事予は名し上に難
そ示うしなに定競たの原に難
00だ。おを般格名入工則とし
12月29日
県込入0入大億円競定
もん札0札半。未競定
対だを万の